

いここになろう

初めての人は札幌市若者支援総合センターで
「いここ」になるための申し込みをします。

札幌市若者支援総合センター

札幌市中央区南1条東2丁目6番大通バスセンタービル2号館2階
(地下鉄東西線バスセンター前駅3番出口すぐ)



011-223-4421

itoco@sapporo-youth.jp



受付は月～土曜日(祝日を除く)の10～18時

運営：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会



子供の未来応援国民運動の支援を受け実施しています

「助けてくれるおじさんおばさん」がもっとたくさん、もっと身近にいてくれたら…。
いま、学校や児童相談所、保健所などを通じて、いここちへのSOSが増え続けています。

いここ+コネクション(繋がり)+ネットワーク(拡がり)＝「いここねっと」



私たちの地域にも
いここちを
創りたい



月に1回くらいなら
うちにご飯
食べにおいで



寄付を通じて
支えたい

100点満点の親の役割を、みんなで1点ずつ手分けするのが「いここねっと」です。皆さんの「できること」と、いここたちの「してほしいこと」が重なったときに、活躍していただけます。まずは事務局にお問い合わせください。いここちの見学も歓迎です。

いここねっと事務局：札幌市若者支援総合センター
電話：011(223)4421 メール：itoco@sapporo-youth.jp

いここたちの食費や、いここちの運営に使わせていただきます。

1. 銀行口座からの振り込み

銀行名：北海道銀行 宮の沢支店
番 号：(普) 0708781
名 義：公益財団法人札幌青少年女性活動協会
理事長 野崎 清史

(お振込み後、お振込み内容についてお電話、
メール等でお知らせいただきたく存じます)

2. クレジットカードからの寄付

こども若者
応援基金への寄付



もう少し詳しく知りたい方はこちら

ユースチャレンジ基金 🔍 検索



一人でのんびりしたり
みんなでごはんを食べたり
「おうち」のように
過ごせるところ
お腹が減ってたまらないとき
ひとりで子育てするのに
疲れたとき
自分をひと休みして
いここち。

応援したい方は
こちらから

知りたい方は
こちらから

ケンジさんは中学生。
うつ病のお母さんと二人暮らし。
優しいお母さんの日と、
心配で学校どころじゃない日。
明日はどっちなんだろう。



カホリさんは19歳。
たった一人で子育て中。
やりたいことはたくさんあるけれど、
いつも子ども優先。
産んだ責任だから仕方ないのかな…。



ジュンさんは
児童養護施設を卒業して、もうすぐ2年。
誰にも頼らず生きて行くのが強さだと思ってた。
いったいつまで一人で頑張ればいいのか。



いとこんちにおいで

いとこんちは、札幌市中央区にある一軒家です。
週のうち2、3日くらい、夕方から夜のあいだ、使えます。

専門のスタッフが、
親戚のおじちゃん・おばちゃんのように
ご飯を作ったり、一緒に遊んだり、
勉強を手伝ったりします。



お金はかかりません。



家や学校以外に
安心して過ごせるところを必要としている、
おおむね13歳～19歳までの子ども・若者が対象です。

- ・児童養護施設等の出身者は24歳までOK
- ・子育て中のひとり親は29歳までOK
- ・家族や友だちをさそって二人で来てもOK



様々な人に支えられて
たくさんの「いとこ」が過ごしています。



いとこんちでできること



ごはん

無料でごはんが
食べられます。
メニューはその
日のおたのしみ。



ゲーム

みんなで遊べる
ゲームもたくさん
用意しています。

Wi-Fi

自由にインター
ネットや動画をみ
ることができます。



勉強

ゆっくり宿題や
勉強ができます。
広いテーブ
ルもあります。



お風呂

お風呂に入るこ
ともできます。
もちろん手ぶら
でOK。



相談

困ったときにはお
じさんおばさんに
いつでも話して
みてください。

